

かたらいの道について

平成 22 年 4 月

市内 3 つの駅圏の 1 つ、三鷹駅北口を玄関口とする中央圏には、芸能劇場、市民文化会館、中央図書館、総合体育館などの文化施設が集積しています。また、中央圏は、玉川上水や千川上水、農地や緑地などの自然環境に比較的恵まれており、圏域全体に良好な住宅地が広がっています。市では、第四期基本構想・長期計画において、中央圏を「緑と潤いのある文化ゾーン」と位置づけており、良好な住環境の保全や落ち着いた雰囲気のある街並みの形成、自然環境との共生、歩行者・自転車中心の道路整備などをまちづくりの方針に掲げています。

中央圏の文化施設、とりわけ市民文化会館は、世界的なオルガンコンクールの開催や有名なアーティストによるクラシックコンサートの公演など、文化的に高い評価を得ており、市外からの来訪者も多く、市民文化会館と三鷹駅を結ぶ道路は来訪者のアクセス道路となっています。また、当該道路は、関係権利者の協力によるセットバックなど、ゆとりのある歩行者空間が確保されてきたという経緯があり、主要施設や公園等をつなぐ散歩道としても利用されています。

このようなことから、市では、三鷹駅から市民文化会館を結び、中央図書館、総合体育館、市役所へとつながる道路を中央圏の主軸となる歩行者・自転車優先の道路と位置づけ、「かたらいの道」として道路の景観整備を進めています。「芸術鑑賞の余韻にひたりながら、同行者と駅まで語り合う」ことをコンセプトに、電線類の地中化、歩道のカラー舗装化、環境や景観に配慮した装飾街路灯の設置、駅前広場や玉川上水の緑と公共施設・民間施設の緑をつなぐ街路樹や植樹帯の設置など、快適で潤いのある道づくりをしています。また、沿道に立地する企業や関係権利者の協力を基本とした一体整備を積極的に推進しており、変化に富んだ賑わいのある空間を創出し、良好な街並みの形成を図っています。

なお、「かたらいの道」は景観まちづくりのパイロット事業という側面もあり、今後は沿道の建築物等を対象とする景観ガイドラインの策定など、本市にふさわしい都市景観の維持・保全と創出に積極的に取り組みたいと考えています。